
基準 5. 学生の受け入れ

1. 現状説明

(1) 学生の受け入れ方針を明示しているか

1) 短期大学部

本学および併設の龍谷大学は、建学の精神(浄土真宗の精神)に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生(ともいき)の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成することを「教育にかかる基本方針」として定め、ホームページに掲げている。

この基本方針に基づき、2009 年度第 2 回全学教学会議(2009 年 10 月 22 日開催)において、「学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」とともに、「入学者受入れの方針」の策定に係る「基本方針」を以下のとおり定めた。

「入学者受入れの方針」の定義と考え方

「入学者受入れの方針」とは、「学位授与の方針」を実現するため、本学が入学生として求める人間像及び基礎学力や資質等を示すとともに、入学者選抜・入学者確保の方法に関する方針を明示するものである。

本学が入学生に求める人間像については、「学位授与の方針」との関係において、整合性・適切性に配慮した内容とする。また、入試方法や入試科目との関係については、「教育課程・編成実施の方針」との整合性・適切性が図れるよう明示する。なお、高等学校において履修すべき科目等、「何をどの程度学んできてほしいか」をできる限り具体的に明示することが望ましい。

(出典：2009 年度第 2 回全学教学会議<2009 年 10 月 22 日開催>資料)

この基本方針をもとに、全学では「学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」とともに「入学者受入れの方針」を以下のとおり定め、2009 年度第 11 回入学試験委員会(2010 年 2 月 4 日開催)において定め、『龍谷大学・龍谷大学短期大学部 入試ガイド』、『入学試験要項』やホームページにおいて明示している(資料 5-1,5-2)。

価値観が多様化する社会において、本学の建学の精神を体現するための意欲と各学部での教育に必要な適性を有した学生を、幅広く受け入れることを基本とします。

(出典：龍谷大学・龍谷大学短期大学部 入試ガイド)

以上の全学の方針に基づく本学の教育理念を深く理解し、明確な目的意識と勉学意欲をもった人材を受け入れるために、全学共通の選抜方法の中で試験科目を工夫している。ま

た、学力検査による一般入試以外にも、受験者の能力や適性等を、多面的に評価する推薦入試の制度を採用している。その上で、講義や演習だけでなく、社会福祉や児童福祉施設、幼稚園等における実習教育など、実社会での実践的・体験的な学びを重視している。また、そのような学びの中で、豊かな人間性、共生（ともいき）の理念、広い学識、進取の精神、福祉あるいは保育・幼児教育全般にわたる基礎的教養、専門的知識、実践的能力を身につけた人の育成をめざしている。

このような受け入れ方針に則った上で、社会福祉学科とこども教育学科は以下のような受け入れ方針を策定している。なお、これらの方針で示す適性は、社会福祉や保育・幼児教育の専門職となるためには必要不可欠な要素であると同時に、一般的に社会人としても要請される適性であると考えている。このため、卒業後の進路に拘らず、柔軟に対応できる汎用性を備えていることを前提としている。

2) 社会福祉学科

- ①読み書きなどの基礎的な学力を確実に身につけた者であること。
- ②行動力や主体的に学ぶ姿勢、社会性、多様な立場の人たちとコミュニケーションをとる力、体験をとおして多くのことを感じ取るための鋭い感性、そして、体験をとおして感じたことを整理する力、つまり思考力や文章力など、実践的・体験的な学習に必要な力を有する者であること。
- ③ディスカッションを行う能力や、ディスカッションをとおして多様な考え方があることを知り、多様な考え方から多様なことを柔軟に学び取る能力を有する者であること。

(出典：龍谷大学・龍谷大学短期大学部 入試ガイド)

3) こども教育学科

- ①教育の前提であり、保育・幼児教育の専門職となるための適性として、一定程度の国語力(読む・書く・話す等、言語的なコミュニケーションの力)を有する者であること。
- ②専門職となるための適性として、相応の生活経験(掃除、調理や洗濯等の家事遂行の経験等)を有する者であること。
- ③保育・幼児教育現場の特性に考慮し、一定程度の臨機応変な対応能力(即興で課題に取り組む意欲や機転、発想力等)を有する者であること。

(出典：龍谷大学・龍谷大学短期大学部 入試ガイド)

また、全学では障がい学生支援委員会を設け、障がいのある学生の受け入れに関して、「障がいのある学生への支援について」を定めている。その基本的な考え方は、次のとおりである(資料5-3)。

障がいのある学生への支援について

障がい学生支援委員会

基本的な考え方

1. すべての学生が社会参加に向けて主体的に取り組むことを支援するという視点に立ち、

障がいを持つ学生一人ひとりのニーズを把握し、その持てる力を高め、学生生活や学修上の困難を改善または克服するため、適切な指導及び必要な支援をおこなう。

2. 障がいのある学生の人数や状況を把握し、適切かつ効果的な支援をおこなえるよう努める。

3. 支援は、障がいのある学生と大学の相互協力によってなされるべきものであり、原則として支援を申し出た学生を対象とする。

(出典：『共に学ぶ、友と過ごす。』龍谷大学が行う障がいのある学生への支援)

この基本的な考え方にに基づき、障がいのある学生が入学を希望する場合、入学試験において、それぞれの種類や程度に応じた受験特別措置を行っている。その内容は入学試験要項において明示しており、出願前に申し出た対象学生に対し、入試部が受験時や入学後の学修に関する個々の相談に応じている。受験特別措置を希望する対象者には、受験に関する詳細な事項を記載した『入学試験要項(別冊)』を渡し、必要に応じた対応を講じている(資料 5-4)。

また、外国人留学生の受け入れについては、「入学者受入れの方針」に基づき、多様な学生を幅広く受け入れるため、外国人留学生入学試験(4月入学)を実施し、留学生を受け入れている。全学では、国際交流を推進するため、世界 22 カ国・地域の計 48 大学(2012 年 12 月 11 日現在)と学生交換協定を締結し、毎年 70～80 名の学生を交換している。本学は、大学を併設するスケールメリットを生かし、国際交流にかかる取り組みを行っている。なお、過去 5 カ年の全学における留学生の受け入れ状況は、表 5-1 のとおりである。

表 5-1 全学における留学生の受け入れ状況(過去 5 カ年)

(単位：人)

年度	正規留学生			特別留学生		留学生 別 科	外国人 特別生	特 別 専攻生	研究生	合 計
	学部	大学院	短大	学部	大学院					
2007	337	58	2	56	11	24	0	0	10	498
2008	324	63	1	60	5	32	0	3	6	494
2009	309	88	3	60	7	28	0	10	6	511
2010	308	104	2	60	6	41	0	11	3	535
2011	309	125	2	59	6	41	0	7	2	551

* 交換留学生数は、特別留学生に含む。各年とも 5 月 1 日現在

(出典：国際部資料により作成)

(2) 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集及び入学者選抜を行っているか。

1) 短期大学部

学生募集については、学生受け入れ方針に基づき、受験生やその保護者、高等学校、予

備校等をはじめ、広く社会に本学の教育理念と短期大学部教育目標・教育課程・入試選抜方法等の広報ならびに公開をし、その教育理念・目標を実現するために、多様な形態で学生募集を行っている。

その主な方法は、次のとおりである。

- ① 大学案内誌・入学試験要項の頒布
- ② 受験生、保護者、高等学校教員等を主な対象とするオープンキャンパスなどの入試関連イベントの開催
- ③ 高等学校・予備校等への訪問・説明会の実施
- ④ ホームページ(パソコンおよび携帯電話)による情報発信
- ⑤ メールマガジンによる情報発信
- ⑥ 新聞・雑誌等のマスメディアを活用した情報発信
- ⑦ ダイレクトメール等による個人向け情報発信

また、学生募集方法やその検証については、全学的な入学試験実施にあたり、統括的な機関である全学の入学試験委員会が担当しており、これは本学の入学試験についても同様である。

入学者選抜試験に関しては、「入学試験規程」を整備し、長期的展望に立って入試政策を立案・決定している（資料5-5）。また、全学の入学試験を統一的に計画、準備および実施するため、入学試験委員会、出題会議、教科出題委員会、評価委員、表記・表現点検委員、入試運営委員会等の組織・体制を整備している。

まず、入学試験委員会のもとに、諮問機関として入試政策・制度検討委員会を設置している。この委員会は、学内外からの情報収集にもとづき、前年度入試の結果および次年度以降の計画、立案等諮問を受けた審議事項につき入学試験委員会に答申している。また、個別の出題に関しては、出題会議で決定する出題方針に基づき、教科出題委員会にて出題内容の連絡・調整を行い、出題内容等の点検・照会については、評価委員、表記・表現点検委員を配置して行っている。これらの出題業務は機密性確保を最優先事項としながら、出題ミスを出さないよう真摯に遂行している。

次に、入学者選抜試験の実施にあたっては、特別組織を編成して入試本部と入試実行グループを設置し、必要な体制を構築している。試験監督には、統一した監督業務の遂行基準を定めた「入学試験監督要領」を作成し、公平・厳格な監督業務を行っている。また、記述式答案の採点にあたっては、すべての答案を採点班(教員)が複数人で複数回採点・点検し、採点の集計は集計班が複数人で複数回チェックすることによって、厳正な入学試験運営体制を構築している。加えて、試験実施後は、直ちに外部機関に入学試験問題の精査を委託し、出題内容に誤りがないか等の検証を行っている。

入学者選抜基準の公表と受験者への説明責任については、大学案内誌に同封の『入試ガイド』および入試種別ごとに『入学試験要項』を発行し、可否判定方法、入学者選抜基準を明確に示している（資料5-6～5-25）。また、2教科型公募推薦入試、一般入試においては、

受験生に対して可否通知とともに入試成績を個別に開示したり、ホームページ等で合格最低点を公表したりすることで、受験生への説明責任を果たすとともに、入学者選抜方法の透明化に努めている。

さらに、高等学校へも入学試験結果を通知している。ただし、受験生が高等学校への成績開示を望まない場合は、個人情報保護の観点から可否結果のみの通知にとどめている。

なお、入学者選抜方法の検証については、統括的な機関である全学の入学試験委員会が担当している。

2) 社会福祉学科

本学科は、2010年度入試において、大学入試センター試験を利用する入学試験〔中期募集〕の新設、2教科型公募推薦入試における新入試方式・型の導入、専門高校、専門学科・総合学科対象推薦入試の新設、受験生の志望動向を考慮した上での指定校推薦依頼校の増加等の入試制度改革を行った。

2012年4月入学の募集定員は、指定校等の推薦入試(32人)、公募推薦入試(55人)、一般入試(30人)、大学入試センター試験(13人)とし、受け入れ方針に合致した入学者を選抜するとともに入学定員を確保している。過去5年(2008～2012年度)の志願者・合格者・入学者数の推移は、「短期大学基礎データ」表3のとおりである。

3) こども教育学科

本学科は、2011年度入学生(開設年度)について、推薦入試では高校の評定平均値と教科で選抜する入試、評定平均値と面接試験で選抜する入試を実施した。一般入試においては従来同様の学力試験での選抜を行った。また、大学入試センター試験を利用した入試については、2012年度入学生(開設2年目以降)選抜時から利用している。

2012年4月入学の募集定員は、指定校等の推薦入試(55人)、評定平均値や面接で選抜する推薦入試(23人)、一般入試(8人)、大学入試センター試験(5人)とし、受け入れ方針に合致した入学者を選抜するとともに入学定員を確保している。過去5年(2008～2012年度)の志願者・合格者・入学者数の推移は、「短期大学基礎データ」表3のとおりである。

(3) 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

1) 短期大学部

本学の入学定員は2012年度現在220名である。2012年度の在籍学生人数は、1年次生226名、2年次生257名(内、3年在籍学生14名、4年在籍学生1名)、合計483名であり、収容定員に対する在籍学生の割合は、1.10倍である(資料5-26)。

2) 社会福祉学科

本学科の定員については、本学が備える各種教室等の施設・設備・備品等を考慮し、厚生労働省に届け出ている定員130名を基本に設定している。なお、2012年度は132名の入学生があった（資料5-26）。

3) こども教育学科

本学科の定員については、本学が備える各種教室等の施設・設備・備品等を考慮し、厚生労働省に届け出ている保育士養成課程定員90名を基本に設定している。

本学科開設初年度の2011年度は定員を超過し、116名の入学生があった。この点については、2010年度末に保育士養成課程を所轄する厚生労働省（近畿厚生局）に対し、超過の状況を速やかに報告するとともにその対応策について相談した結果、2011年度初頭の段階でクラス数の増加等、可能な限り教育の質を低下させない方策を実施した。そして、開設2年目の2012年度入学生については、定員超過することがないように各種入試のあり方を見直した結果、93名の入学があった（資料5-26）。

（4）学生の受け入れ方針に基づき、学生募集と入学者選抜を公正かつ適切に実施しているかについて、定期的に検証を行っているか。

1) 短期大学部

入試の見直しについては、学科会議での実質的な審議・決定をふまえ、毎年度、教授会に提案、審議、決定するという手続きを経ており、検証及び適切性を判断する組織的な体制が構築できている。各学科の具体的な内容は、以下の通りである。

2) 社会福祉学科

学生の募集については、入試種別（小論文型公募・教育連携校・2教科型公募・専門高校・一般入試・大学入試センター試験）により募集定員を決めており、各入試種別による入試が終わる度に、教授会により合格者の決定を行っている。また、募集定員に対する合格者については、例年の手続き状況を参考に全体の募集定員を大幅に超えることがないように十分検討した上で決定している。なお、入試種別による募集定員の配分については、前年度の入試実績を見ながら適時見直しを行っている。

3) こども教育学科

学生募集・入学者選抜の適切性に関する定期的検証については、開設初年度の2011年度は学部長・教務委員・教務課長を中心に適時検討し、本学科会議に提案、審議、決定してきた。また、2012年度は本学科会議において所属教員全員で現状と問題点を共有し、各種入試の見直し（募集定員、出願条件、入試区分等）を行った。2013年度入試についても、同様の手続きで見直しを行っている。

2. 点検・評価

○基準の充足状況

学生募集方法に関しては、主要広報媒体である大学案内誌の発行・頒布等、入試関連イベントの開催、新聞・雑誌・インターネット等の媒体を活用した広報を実施している。そして、修学意思を喪失し、退学ないし進路変更を行う学生に対応した支援方策を検討している。

(1) 効果が上がっている事項

1) 短期大学部

学生募集方法として、主要広報媒体である大学案内誌の発行・頒布等、入試関連イベントの開催、新聞・雑誌・インターネット等の媒体を活用した広報を実施している。

夏のオープンキャンパスでは、現代GPで教材として製作したDVD「イメージ創生を中心としたキャリア教育 一視聴覚教材・学外教育資源・体験型学習を活用した体系的教育プログラム」を公開した。また、短期大学部での学びのポイントの解説や両学科のミニ講義を行った。結果として、表5-2が示す全学の過去3年間のオープンキャンパスの参加者数からもわかるように、参加人数は上昇している。

表5-2 過去3年のオープンキャンパス参加者数の推移 ※龍谷大学と合同開催(単位:人)

開催年度	2009年度	2010年度	2011年度
参加人数	11,895	12,999	14,483
対前年度比	99.5%	109.3%	111.4%

(2) 改善すべき事項

1) 社会福祉学科

主に改善すべき事項としては、修学意思を喪失した学生への対応が挙げられる。近年、本人の主体的な意思で入学していない学生が見受けられ、進路変更や就職のため等、入学後に改めて進路を考えなおすという事態が増えてきている。

具体的には、2007年度以降、表5-3に示すとおり修学意志の喪失、言い換えれば、進むべき進路が見つかったとか他の職業に就くことにしたので、本学で学ぶ社会福祉に興味を持てずに修学意志を失ったとのケースが見受けられる。大学入学に際して、目的意識の希薄化が言われているが、今後もこの傾向は続くものと思われる。

さらに、個別ケースとして散見されるのは、人と関わることが不得意あるいは苦手なことが契機となり、休学、退学に至ったというケースである（「短期大学データ集(参考)」表15のとおり）。

表5-3 社会福祉学科の退学者数とその理由

(単位：人)

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
一身上の都合	3	6	6	4	6
修学意志の喪失	5	8	12	5	5
経済的事情	0	1	0	1	0
家庭の事情	3	0	0	0	1
進路変更のため	1	0	0	1	1
就職のため	1	0	1	3	3
病気	1	0	0	0	1
修学年限満了	0	0	1	0	0
学費未納	0	2	0	2	3
合 計	14	17	20	16	20

2) こども教育学科

本学科は 2011 年 4 月に新設されたため、2013 年 3 月末の完成年度の完了までは、文部科学省への設置申請の際に提出した「設置の趣旨等を記載した書類」に準拠して、学生の受け入れを実施しているところである。現在、退学ないし進路変更をした学生の情報を収集し詳細な検討及び分析を行っており、具体的な結果は完成年度後に示される予定である。

3. 将来に向けた発展方策

(1) 効果が上がっている事項

1) 短期大学部

一般に短期大学では、志願者数が減少しているとされているが、本学においては、在籍学生人数が収容定員を若干上回っている。これにはいくつかの要因が考えられる。

まず、本学が大学を併設する短期大学であることが挙げられる。本学併設の大学は創立 370 年以上の長い歴史と伝統を持った高等教育機関であり、その歴史と伝統を尊重しつつ、本学はその時代の要請に応じた教学展開を図ってきた。また、その伝統を基盤にし、大学全体として 1975 年から 10 年ごとに長期計画を策定し、大学創造に取り組み、安定的な大学経営を継続・維持してきたことが、本学の社会的信用および認知を得ている要因であると考えられる。例えば、2011 年度卒業時進路調査では卒業生の 43.0% が進学をしており（資料 5-27）、2012 年度入学時実施の入学動機アンケートでも入学者の 41.4% が「4 年生学部への編入制度があるから」と回答している（資料 5-28）。また、指定校推薦による学部編入制度（2011 年度龍谷大学指定校推薦枠 85 名）が整備されていることも志願者を集めることに繋がっていると思われる。さらに、「京都」という立地条件も、毎年入学者が確保できている要因の一つであると考えられる。

2) 社会福祉学科

クラス制を取っているため、学生の状況を把握しやすい体制を構築している。例えば、退学につながる学生は欠席等が続くことが多く、そのような場合はクラス担当教員が連絡を取り状況の把握を行い、学生個々の課題について相談に乗っている。したがって、クラス担当教員が知らないうちに退学につながるというケースはほとんどない。さらに、教員は学科会議等で個々の学生についてクラス担当教員から情報が提供され、共通認識をもって対応を行っている。

3) こども教育学科

本学科は 2011 年 4 月に新設されたため、2013 年 3 月末の完成年度の完了までは、文部科学省への設置申請の際に提出した「設置の趣旨等を記載した書類」に準拠して、学生の受け入れを実施しているところである。完成年度後、効果等の評価を行い、将来に向けた発展方策の検討を行う予定である。

(2) 改善すべき事項

1) 短期大学部

近年の 4 年制大学入学志向のなかにあっても、短期大学の志願者は一定程度存在するとされるので、各入試制度における募集人員比率を再考するとともに、合格者判定時に入学者予測の精度を高めることが必要である。

2) 社会福祉学科

退学者を減少させるためには、入学時よりクラス担当教員が学生の状況を把握し、これまで以上にこまめに対応していく必要がある。クラス等を通じて学科で学ぶ内容や卒業後の進路等について情報を積極的に発信し、学科の特色を十分理解してもらうことを継続的に行っていく。

3) こども教育学科

学科開設初年度の 2011 年度においても保育士養成課程定員の遵守という社会的必要性から、学科会議を中心に入試のあり方についての実質的な審議や決定を行った。2012 年度については、学科会議を中心に学生受け入れの現状についての検証及び適切性の判断を行い、入学定員に対する入学予定者の精度を高めた。2013 年度以降も継続的に学生の受け入れ方針に合致した入学生の選抜を適切に行い、合格判定時に入学者予測の精度を一層高めて行く必要がある。

4. 根拠資料

- 5-1 龍谷大学・龍谷大学短期大学部 2012 GUIDE BOOK (大学案内誌)
(既出 資料 1-7)
- 5-2 2012 年度 龍谷大学入学試験要項
- 5-3 『共に学ぶ、友と過ごす。』龍谷大学が行う障がいのある学生への支援
- 5-4 龍谷大学入学試験要項 (別冊)
- 5-5 入学試験規程
- 5-6 2012 年度 龍谷大学指定校推薦入学試験要項 ※学部政策枠
- 5-7 2012 年度 龍谷大学指定校推薦入学試験要項 ※大学政策枠
- 5-8 2012 年度 龍谷大学指定校 (高大連携協定校) 推薦入学試験要項
- 5-9 2012 年度 龍谷大学指定校 (上宮高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-10 2012 年度 龍谷大学指定校 (京都橘高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-11 2012 年度 龍谷大学付属平安高等学校推薦入学試験 (A 方式) 要項
- 5-12 2012 年度 龍谷大学付属平安高等学校推薦入学試験 (B 方式) 要項
- 5-13 2012 年度 龍谷大学関係校推薦入学試験要項
- 5-14 2012 年度 龍谷大学教育連携校 (北陸高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-15 2012 年度 龍谷大学教育連携校 (崇徳高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-16 2012 年度 龍谷大学教育連携校 (神戸龍谷高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-17 2012 年度 龍谷大学教育連携校 (相愛高等学校) 推薦入学試験要項
- 5-18 2012 年度 龍谷大学スポーツ活動選抜入学試験要項／文化・芸術・社会活動選抜入学試験要項
- 5-19 2012 年度 龍谷大学スポーツ活動《特別》選抜入学試験要項
- 5-20 2012 年度 龍谷大学伝道者推薦入学試験 (専願制) 要項
- 5-21 2012 年 4 月入学 龍谷大学外国人留学生入学試験要項
- 5-22 2012 年 4 月入学 龍谷大学外国人留学生スポーツ活動選抜入学試験要項
- 5-23 2012 年度 龍谷大学帰国生徒特別入学試験要項／中国引揚者等子女特別入学試験
要項／社会人推薦入学試験要項
- 5-24 2012 年度 龍谷大学再入学試験要項 (外国人留学生対象再入学試験を含む)
- 5-25 2012 年度 4 月入学 龍谷大学留学生別科修了見込対象者大学 1 年次入学外国人正
規留学生推薦入学試験要項
- 5-26 平成 24 (2012) 年度 学生数調査・点検総括表
- 5-27 短期大学部進路状況等 (2011 年度卒業生)
- 5-28 2012 年度 入学動機アンケート